

きのこの放射能測定値（その2）

篠崎 正一

昨年の本通信誌で2011年の茨城、埼玉県の里山等で採集した、野生きのこ放射能含入量を、レンタル店の放射測定機器により測定したものを掲載させて頂きました。一年を経て同じ場所で採集した同種類のきのこ放射能値がどの様に変化したのかに関心がありました。一昨年、民間のレンタル店で機器を借用し、自身で測定を行いました。昨年の春柏市消費生活センターで、食品の放射能測定部署が開設され、検査依頼が出来る様になりました。開設当初は大変混雑していましたが、秋にはそれほどでもなくなりました。その事もあったのでしょうか、一昨年利用したレンタル店の設備が大幅縮小され、容易に測定機器を借りる事が出来なくなりました。そこで今回は、柏市にきのこを持参し、検査頂いた放射能値について紹介したいと思います。それに伴い放射能値について、昨年との一連性が無くなってしまうかもしれません。しかし今回の放射能値精度は、高性能機器や専門会社による検査の為、前回よりはるかに正確であると考えます。2012年のきのこ事情は、全般的に不作だった様に思います。特に残暑が影響し、短い秋と成って「秋きのこ」には厳しい状態でした。今回検査依頼したきのこの種類はわずかに4種です。これは、不作であった事と持ち込み量が、一検体700gの規定があつて、なかなかその量を一回に同じ場所で採集出来なかった事によるものです。きのこは、チチタケ（茨城県坂東市：里山）、アカヤマドリ（茨城県坂東市：里山）、アカモミタケ（茨城県つくば市：筑波山）とキハツダケ（茨城県つくば市：筑

波山）です。前年の値との比較を筑波山のきのこ2種について行ってみますと、セシウム総量（134と137の合計）で、アカモミタケ4389 Bq/kg（昨年の最高値）に対し、998 Bq/kg、キハツダケ239 Bq/kgに対し924 Bq/kgです。この結果から見ると残念ながら増減の推移を見る事が出来ません。しかし、セシウムの減衰や雨風による土壌洗浄等を考えますと、少しなりとも減少しているのかと思っています。

最近の放射能に関する報道は、昨年に比べやや下火の感じがします。それに伴って野生きのこ放射能含入に関するニュースも少なく成っています。昨年の春、放射能の基準値（食品一般）が500 Bq/kgから100 Bq/kgの新基準に成った事もあるのでしょうか、長野県小諸周辺の野生きのこが、基準値を超えて、野生きのこ出荷停止の報道がありました。一昨年までこの地を訪れきのこ採集をしていた事もあり、この野山まで影響が及んでいるのかと思うと残念な事でした。また、埼玉県鳩山町のアカモミタケが200 Bq/kg以上の報道がありました。この値は、一昨年当方で測定した同地区のアカモミタケのものとほとんど同じでしたので、値そのものは驚きませんでしたが、興味ある事は、このきのこが同地区で採集された他種類のきのこの中で、一番放射能含入量が多い事でした。アカモミタケは、筑波山のきのこの中でも他種類に比べ多かったのが共通する現象でしょうか。

野生きのこ放射能含入量を発表している公共機関は、昨年に比べて激減していて、めった

に見られません。わずかに各県のホームページに掲載されていますが、県によりまちまち

で、関連記事もほとんどありません。継続して検査結果の推移を見たいものです。

表1. 放射能検査結果

1). 検体概要

項目	検体	菌種	採集日	採集場所	検査日	セシウム134	セシウム137	134. 137合計*1
1	チチタケ	外性菌根菌	7月15日	里山(茨城県坂東市)	10月11日	10k=30k	10k=30k	30k=60k
2	アカヤマドリ	外性菌根菌	7月15日	里山(茨城県坂東市)	10月11日	10k=30k	10k=30k	30k=60k
3	キハツダケ	外性菌根菌	10月23日	筑波山(茨城県つくば市)	11月6日	≤10k	≤10k	10K=30k
4	アカモミタケ	外性菌根菌	10月23日	筑波山(茨城県つくば市)	11月6日	≤10k	≤10k	10K=30k

*1: 文部科学省放射線量分布(平成24年6月28日)

2). 検査結果(柏市消費生活センター)

項目	放射能濃度(Bq/kg)			検出下限値(Bq/kg)			備考
	Cs-134	Cs-137	Cs合計	Cs-134	Cs-137	Cs合計	
1	不検出*2	13	13	11	10	—	試料不足の為参考値
2	49.6	79.7	129.3	7.1	7.86	—	
3	339	585	924	9.45	10.3	—	
4	374	624	998	10	9.42	—	

*2: 「不検出」とは、放射性物質が存在しない、又は検出下限未満であることを示します。

3). 放射性セシウム基準値

(数値は放射能セシウム134と137の合計値)

飲料水	10 Bq/kg
牛乳	50 Bq/kg
乳児用食品	50 Bq/kg
一般食品	100 Bq/kg



1. チチタケ



2. アカヤマドリ



3. キハツダケ



4. アカモミタケ